令和7年度 西が岡小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

人間尊重の教育を基盤に自ら学び、自ら考え、主体的に判断して生きていくことのできる、心身ともに健康で、心豊かな、たくましい児童を育成する。

<目指す児童像>

- (1) 明るく元気な子ども（体力・気力）
- (2) よく考えて学習する子ども（創造力）
- (3) 心豊かで思いやりのある子ども（責任・思いやり）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

教育目標の達成を目指し、子どもの主体性を育て、希望に満ちた明るく楽しい学校づくりをするために、全職員が和と協力、熱意、そして人間尊重の精神を基盤に『生きる力』を育む教育に取り組み、新しい時代の教育に向けた持続可能な活力に満ちた特色ある学校経営を推進する。

<目指す学校像>

- (1) 楽しく充実したみんなと生きる学校
- (2) 子どもと教師が共に育つ学校
- (3) 地域とともに歩む笑顔あふれる学校

<合言葉> 元気いっぱい 夢いっぱい 笑顔あふれる 西が岡

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

(1) 安全安心な学校づくり

「生きる力」を育み、児童が生き生きと活動し進んで学べるようにするために、日常の安全管理に努め、安全確保に努めるとともに、全ての児童が安心して生活を送ることができるよう、いじめ等の未然防止や安全教育の充実に努める。

(2) 自己肯定感を育む学級経営と教育活動の充実

一人一人の存在を互いに認め合い、他者と関わる力を高め、学習や生活の基盤として居心地がよく安心感ある学級づくりに努めるとともに、自信と意欲を育み、よさを十分に発揮できる教育活動の展開に努める。

(3) 確かな学力の向上

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り、一人一台端末を活用した個別最適な学びや協働的な学びを推進し、学ぶことの楽しさや成就感を体感させ、家庭との連携を図りながら、基礎・基本の確実な定着と自ら学ぶ態度の育成に努める。

(4) 豊かな心の育成

道徳教育や体験活動、読書活動の充実を通して「生命や人権を大切に作る心」「思いやりの心」や創造性を育み、心豊かでたくましい子どもの育成に努める。

(5) 児童指導の充実

児童理解に努め、信頼関係を構築し、全職員で方針を共有して行動力や判断力を育成するとともに、家庭との連携を図り、規範意識の醸成と基本的な生活習慣の確立に努める。

(6) 体力の向上と保健安全教育・食育の充実

進んで運動に親しむ体育指導と、健やかな体を育む食育・保健指導の充実を図り、家庭や地域社会との連携を図りながら、健康・体力の向上に努める。

(7) 小中一貫教育の推進

学校園で行う認め励ます指導を通して自尊感情を育み、学習や活動の交流を図り、小中一貫教育を推進する。

(8) 特別支援教育の充実

多様性と人権を尊重し、特別支援教育の視点を大切にされた教育環境の醸成に努めるとともに、配慮が必要な児

童に関して、心身の発達の段階や特性を踏まえたかかわり方や支援の方策等の対応力を高める。

(9) 教職員の資質の向上

人権尊重の理念を重視した教育活動を実施し、個々の教員が資質向上に努め、学び合いを高めて、児童や保護者から信頼される教職員集団を目指すとともに、「チーム学校」として組織的に諸課題に対応する力を高める。

(10) 地域とともにある学校づくり

家庭や地域と連携し地域の教育力を生かした学校教育の充実を図り、情報発信の充実に努め、連携・協働した取組を推進することで、よりよい社会の一員として積極的に行動する児童を育成する。

(11) 働き方改革の推進

働き方の見直しを図り、心身ともに健康に専門性を発揮して効果的な教育活動に専念するための業務の適正化を図り、新しい時代へ向けた持続可能な教育体制を目指す。

[宝木地域学校園教育ビジョン] 「いきいき宝木」心豊かな宝木っ子の育成を目指します。
～他を思いやる心や規範意識を育み、基本的な生活習慣や主体的に学ぶ態度を身に付けさせる指導の充実～

4 教育課程編成の方針

(1) 日本国憲法，教育基本法，学校教育法，同施行規則，小学校学習指導要領等の法令並びに栃木県教育委員会の方針「栃木県教育振興基本計画」，宇都宮市教育委員会の学校教育の重点「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」「令和7年度指導の重点」の示すところに従い公教育の立場を堅持し，本校の教育目標達成のため，調和と統一ある教育課程を編成する。

(2) 児童の実態や学校の特色や地域のもつ豊かな教育力を生かして，知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで「生きる力」を身に付けた児童の育成を目指した教育課程の編成に努める。

(3) 本年度の学校教育目標，学校経営方針，努力点や具体策，学校課題の具現化を図るとともに，学校教育の活性化を図る特色ある教育課程の編成をする。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営

○ 認め励ます教育を推進し，家庭や地域社会との連携を図りながら社会の一員としてよりよく生きる意識を高め，縦割り班活動を中心とした体験活動や読書活動などを通して豊かな心と主体性を育む。

(2) 学習指導

○ 児童の実態や特性を踏まえ，主体的に学ぶ意欲や学習習慣の育成を図るとともに，基礎・基本の確実な習得を目指した分かる授業（宇都宮モデル・西が岡スタイル）を展開し，確かな学力の定着に努める。

・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現を意識し，ICT環境の活用や特別支援教育の視点を取り入れた授業の充実を図り，学ぶことの楽しさを実感する教育の推進に努める。

(3) 児童生徒指導

○ 道徳教育や学級経営の充実を図り，自己を見つめる目を育て，自己統制力を高めて，良好なコミュニケーションの下，他者と協同してよりよく生きようとする児童を育てる。

・ いじめゼロ集会や人権週間等の取組を通していじめを生まない指導・支援の充実を図る。

○ 「よい子の一日」を活用するとともに，具体的な活動を通して「明るいあいさつ」「正しい言葉遣い」「決まりを守る態度」の育成に努める。

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

・ 学校生活における安全を念頭に置いたルール徹底を図り，避難訓練等の実施を通して自身の安全を守るための判断力や実践力を育成する。

・ 体育，保健，食育指導の連携を深めるとともに家庭と連携を図りながら，自己の生活習慣（保健安全・食習慣・体力）を意識して自ら正しく判断して行動する児童の育成に努める。

(5) 働き方改革の推進

- ・ ICTの活用，校内協働体制の確立，地域と学校の連携・協働の積極的な推進等により校務の効率化を図るとともに，教職員の出退勤時刻の適正管理や定時退勤日の設定等を実施し，勤務時間の適正化を推進する。

6 自己評価

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	表中数字：上段はR7年度 下段はR6年度 太数字：前年度比 ±5ポイント 評価												
1-(1) 確かな学力を育む教育の推進	A1 児童は，他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考えるなど，主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，学習課題を解決するために，友達と話し合ったり，必要な情報を集めたりしながら，じっくり考え，進んで学習に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児童90%以上	① 児童が自分の考えを広めたり深めたりするような学習場面で1人1台端末を活用し，主体的に必要な情報を利用して学習に取り組めるようにする。 ② 「聞き方・話し方・姿勢」を掲示し，意識付けを図る。 ③ 「リレー自学ノート」を活用し，他の友達の良さを実感しながら，進んで自主学習に取り組めるようにする。 ④ 「西が岡スタイル」による「分かる，できる」を実感できる授業の展開に努める。 ⑤ 学校図書館や市立図書館の「巡回図書」，1人1台端末を活用し，児童の情報活用能力の育成を図る。		【達成状況】A1 () <table border="1" data-bbox="1034 519 1474 636"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	児童	教職員	保護者	地域								
児童	教職員	保護者	地域													
1-(2) 豊かな心を育む教育の推進	A2 児童は，思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，誰に対しても，思いやりの心をもって優しく接している。」における肯定的回答 ⇒児童90%以上	① 体験活動と関連を図った道徳科，探究活動の過程に体験活動を位置づけた総合的な学習の時間の授業を実施し，生命や人権を尊重する心や思いやる心などを涵養する。 ② ボランティアによる読み聞かせや読書週間を計画的に実施し，豊かな感性の育成を目指した読書活動を推進する。 ③ 縦割り班による異学年の交流活動を設定し，上級生が下級生を助けたり励ましたりするとともに班員が互いに助け合いながら，「西岡タイム」の活動を進めることを通して，思いやりの心を育てる。 ④ 生命尊重や人権尊重に関する各教科等の学習を授業参観で公開したり，親子学習で取り上げたりして，保護者への啓発を行い，親子で思いやりについて考える機会を設ける。 ⑤ 人権週間に標語や作文を書いたり，人権について考える集会活動を実施したりすることで児童や教職員の人権意識を高めていく。		【達成状況】A2 () <table border="1" data-bbox="1034 1021 1474 1137"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	児童	教職員	保護者	地域								
児童	教職員	保護者	地域													

	<p>A3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児童80%以上</p>	<p>① 児童の自己肯定感を高められるよう、児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、担任も認め励ます指導に努める。</p> <p>② 授業において、児童が目標をもって取り組む機会を設けるとともに、課題の解決に向けて自分から進んで考え、試行錯誤しながら課題を解決しようとする態度を称賛する。</p> <p>③ 道徳の授業において、目標をもって粘り強く取り組むことの大切さに気付かせるとともに、日常生活における道徳的な実践に向けた意欲を高める。</p> <p>④ キャリアパスポートや振り返りカードを活用して、振り返りを行い、各種行事における達成感を味わえるようにする。</p> <p>⑤ 第6学年において地域や企業と連携して「宮っ子『夢』教室」を実施し、自分の将来に向けた夢を持つ学習を実施する。</p>	<p>【達成状況】A3 ()</p> <table border="1" data-bbox="1034 168 1473 286"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	児童	教職員	保護者	地域								
児童	教職員	保護者	地域												
<p>1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進</p>	<p>A4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、健康や安全に気を付けて生活している。」における肯定的回答 ⇒児童90%以上</p>	<p>① 休み時間の過ごし方や廊下の歩行、登下校時の歩行について、自分で考えて安全に行動できるよう日常的に安全指導に努める。</p> <p>② 生活チェックシートを活用して、担任や養護教諭、学校栄養士等による個別指導を充実する。</p> <p>③ 「おべんとうの日」には、発達段階に応じたワークシート等を活用して栄養のバランスに配慮した献立が立てられるよう支援する。</p> <p>④ 委員会活動を通して、上級生を中心に児童が自ら健康や安全について考える場を設定し、学校全体で生活場面で実践する機会を設ける。</p>	<p>【達成状況】A4 ()</p> <table border="1" data-bbox="1034 898 1473 1016"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	児童	教職員	保護者	地域								
児童	教職員	保護者	地域												
<p>1- (4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進</p>	<p>A5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、自分の良さや考えを生かしたり、周りと協力し合ったりして、進んで生活をよりよくしようとしている。」における肯定的回答 ⇒児童80%以上</p>	<p>① 宮・未来キャリア教育に関わる活動を生活科、総合的な学習の時間等の年計へ位置づけし、系統的に学習する。</p> <p>② 学級活動や係活動などにおける実践的な活動を通して自分の役割を意識し、問題を主体的に解決し、生活をよりよくしようとする意識を高める。</p> <p>③ 地域人材やボランティアを活用し、仕事や職業観についての話を聞く機会や体験的活動を設定して、学習や生活と職業とを関連付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2分の1成人式（4年） ・ 夢いっぱい教室（6年） ・ 町探検（2年） <p>④ 学級活動や委員会活動で、キャリアパスポートへの活動記録を累積させ、自己の成長を自覚させる。</p>	<p>【達成状況】A5 ()</p> <table border="1" data-bbox="1034 1391 1473 1509"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	児童	教職員	保護者	地域								
児童	教職員	保護者	地域												

<p>2- (1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進</p>	<p>A6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、外国語活動(英語)の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」における肯定的回答 ⇒児童80%以上</p>	<p>① 低学年から、学級担任とALTによるT・Tによる指導を進め、「聞くこと」、「話すこと」を中心とした活動を通じて外国語に慣れ親しみ外国語学習への動機付けを高めるとともに、高学年においては段階的に文字を「読むこと」、「書くこと」を加えて総合的・系統的に行い、コミュニケーション能力の育成を図る。 ② 職員研修で英語の教材開発やICTを活用した指導法の工夫や改善などを行い、授業力の向上を図る。 ③ ALTによる絵本の読み聞かせを行ったり、朝の時間に英語の歌を流したりして、英語に親しみやすい雰囲気づくりを行う。</p>	<p>【達成状況】A6 ()</p> <table border="1" data-bbox="1034 168 1473 286"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	児童	教職員	保護者	地域								
児童	教職員	保護者	地域												
	<p>A7 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、宇都宮の良さを知っている。」における肯定的回答 ⇒児童80%以上</p>	<p>① 生活科、社会科、総合的な学習の時間の学習や、市内や地域での校外学習等において、学習内容に関連させながら児童が身近な地域や宇都宮市の良さに気付く指導に努める。 ② 宮っ子伝統文化教室等の体験的な学習を計画的に実施し、郷土宇都宮の歴史や伝統文化を理解する学習を実施する。 ③ 下野民話の会の方の読み語りと連携し、宇都宮に関する民話を聞く機会を設け、伝統文化に慣れ親しませる。</p>	<p>【達成状況】A7 ()</p> <table border="1" data-bbox="1034 701 1473 819"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	児童	教職員	保護者	地域								
児童	教職員	保護者	地域												
<p>2- (2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進</p>	<p>A8 児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、パソコンや図書等を学習に活用している。」における肯定的回答 ⇒児童85%以上</p>	<p>① 「一斉学習」、「個別学習」、「協働学習」それぞれの学習場面において、デジタル機器を活用した効果的な学習指導に努める。 ② 児童が授業においてデジタル機器や図書資料を活用して、情報を収集・整理・発信する活動を充実させ、それらを活用する能力の育成を図る。 ③ 家庭学習において1人1台端末の活用を図る。 ④ 学校図書館の環境整備に努め、授業学習内容に関連する図書資料を計画的に準備し、国語の教材や総合的な学習の時間の調べ学習等に役立てる。 ⑤ 朝の学習において読書の時間や読み聞かせなどの読書活動を計画的に位置づけたり、図書だよりを発行したりするなどして児童の読書意欲を喚起する。</p>	<p>【達成状況】A8 ()</p> <table border="1" data-bbox="1034 1090 1473 1209"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	児童	教職員	保護者	地域								
児童	教職員	保護者	地域												

2-(3)
持続可能な
社会の実現
に向けた担
い手を育む
教育の推進

A9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。
【数値指標】
全体アンケート
「私は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。」における肯定的回答
⇒児童90%以上

- ① 各教科・総合的な学習の時間等における環境に関連する学習内容を通して、児童の発達段階に応じた教材分析や授業づくりを行い、持続可能な社会づくりの実現に向けて、児童の見方・考え方を育成する。
- ② 各教科で学習した取組を「SDGs17の目標」に関連付けながら実践できる機会を学級活動や委員会活動等で意図的に設ける。
- ③ 具体的な SDGs に関する学習への取組状況や持続可能な社会に関する学習の様子を保護者に学校ホームページ等で周知し、家庭と連携することにより、児童の関心をさらに高めていく。

【達成状況】A9 ()

児童	教職員	保護者	地域

3-(1)
インクルー
シブ教育シ
ステムの充
実に向けた
特別支援教
育の推進

A10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。
【数値指標】
全体アンケート
「教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」における肯定的回答
⇒教職員85%以上

- ① 校内支援会議を計画的、または必要に応じて開き、個に応じた具体的な支援について協議し、共有して組織的な体制で対応する。
- ② 全教職員が様々な視点から児童を観察し、特別支援教育コーディネーターを中心に支援の必要な児童について状況の把握・情報共有を行い、かがやきルーム担当者と連携しながら学級での支援を充実させる。
- ③ SCや外部機関と連携して、個に応じたよりよい支援の在り方について検討し、指導や支援に生かしていく。

【達成状況】A10 ()

児童	教職員	保護者	地域

3-(2)
いじめ・不登
校対策の充
実

A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。
【数値指標】
全体アンケート
「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」における肯定的回答
⇒児童90%以上

- ① 教育相談を年間2回、アンケートを年4回実施し、児童の実態の把握と問題行動の早期発見に努める。
- ② 人権週間、いじめゼロ月間、いじめゼロ集会を実施するとともに、保護者にも公開し啓発に努める。
- ③ いじめ防止に関する資料や学校での取組を懇談会や学校便り、学校HPなどで地域や保護者に積極的に発信する。

【達成状況】A11 ()

児童	教職員	保護者	地域

A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。
【数値指標】
全体アンケート
「先生方は、一人一人を大切に、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」における肯定的回答
⇒児童90%以上

- ① 児童の自己肯定感や安心感が高められるようソーシャルスキルやエンカウンター等を取り入れる。
- ② 不登校対策やいじめ対策を兼ねて、児童指導について情報交換会を実施し、全職員が情報を共有する。
- ③ 電話連絡や家庭訪問等で保護者との情報交換を密に行い、学校生活の不安解消を図る。
- ④ 状況に応じて SC を積極的に活用することで、多様な支援体制による児童及び家庭支援、児童一人一人の状況に応じた適切な働きかけを行う。
- ⑤ Q-U 検査結果や教育相談等で実態を把握し、不登校未然防止に努めるとともに、不登校の発生時には SCM や児童指導主任を中心とした対策委員会を実施し、方針を共有し、全校体制で支援を行う。

【達成状況】A12 ()

児童	教職員	保護者	地域

<p>3-(3) 外国人児童 生徒等への 適応支援の 充実</p> <p>3-(4) 多様な教育 的ニーズへ の対応の強 化</p>	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、困ったときに相談に乗ってくれたり、問題を解決しようとしたりして、私たちが楽しく学校生活を送れるようにしている。」における肯定的回答 ⇒児童90%以上</p>	<p>① 学校行事や児童会活動に児童が主体的に取り組む場を設定し、適切な指導・支援・助言をすることにより、児童の達成感・自己肯定感を高める。</p> <p>② ペア学習やグループ学習などの多様な学習形態を取り入れたり、体験的活動の場を設定したりして、児童の意欲を高める。</p> <p>③ 年間4回実施するいじめ調査を効果的に利用し、必要に応じて児童と面談を行い、継続的に児童の実態の把握と問題の早期発見に努める。</p>	<p>【達成状況】A13 ()</p> <table border="1" data-bbox="1034 165 1474 286"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	児童	教職員	保護者	地域								
児童	教職員	保護者	地域												
<p>4-(1) 教職員の資 質・能力の向 上</p>	<p>A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」における肯定的回答 ⇒児童90%以上</p>	<p>① 全職員共通理解のもと今年度の学校課題の研究を進める。</p> <p>② 授業研究を行い、指導方法の工夫・改善や指導力の向上を図り、きめ細かな指導を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西が岡スタイルの実践 ・一人一授業公開 ・授業改善チェックリストの活用 ・ヒントカードや教材提示の工夫 <p>③ 学校での児童の学習の取組の状況や教職員の研究の様子などについて、学校ホームページで取り上げ、学校での学力向上に向けた研究の様子を家庭に周知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習チャレンジ週間」の実施 ・西が岡小「家庭学習のすすめ」の配付 <p>④ ノートやワークテスト、プリントなどに励ましやアドバイス・コメントなどを入れ一人一人の意欲を高める。</p> <p>⑤ 学力向上推進リーダーと連携を図り、教員の授業力向上や児童の学習意欲の向上を図る。</p>	<p>【達成状況】A14 ()</p> <table border="1" data-bbox="1034 568 1474 689"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	児童	教職員	保護者	地域								
児童	教職員	保護者	地域												
<p>4-(2) チーム力の 向上</p>	<p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる教職員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒教職員80%以上</p>	<p>① 職員会議や打合せ等において各教育活動の計画を確認し、活動の目的や育てたい児童の姿等を明確にし、全職員が共通理解を図ることで、よりよい指導・支援に向けて協力して取り組む体制づくりを進める。</p> <p>② 校内における児童の安全を確保するための見回りを職員全体で役割分担を図りながら行う。</p> <p>③ 全職員が職員会議等で児童の情報交換を計画的に行い、指導や支援の体制について共通理解を図り、組織的・計画的に児童の健全育成を進める。</p>	<p>【達成状況】A15 ()</p> <table border="1" data-bbox="1034 1312 1474 1433"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	児童	教職員	保護者	地域								
児童	教職員	保護者	地域												

4-(3)
学校における
働き方改
革の推進

A16 勤務時間を意識して、業
務の効率化に取り組んで
いる。
【数値指標】
全体アンケート
「私は、教職員の勤務時間を意
識して、業務の効率化に取り組
んでいる。」における肯定的回
答
⇒教職員80%以上

- ① 職員研修等において働き方改革の意識付けと具体的な取組の共通理解を図り、教職員一人一人が、業務の効率的な実施や計画的な処理に努める。
- ② ポータルサイトや学習情報システム等を活用して、業務を効率的に遂行できるようにする。
- ③ 職員会議の協議事項や打合せの口頭説明事項を精査して効率化を図ったり、学校行事の運営の仕方等について見直しを図ったりして業務改善を行う。
- ④ 教職員の業務の効率化を図るため学校業務機動班の効果的・計画的な活用を図り、教職員が校務に関わる時間を確保する。

【達成状況】A16 ()

児童	教職員	保護者	地域

5-(1)
全市的な学
校運営・教育
活動の充実

A17 学校は、「小中一貫教育・
地域学校園」の取組を行っ
ている。
【数値指標】
全体アンケート
「学校は、小学校と中学校が連
携した「小中一貫教育・地域学
校園」の取組を行っている」に
おける肯定的回答
⇒保護者80%以上

- ① 乗り入れ授業、教科分科会、6年生の進学先中学校訪問等を、目的を明確にして効果的に実施する。
- ② 行事や児童会活動・集会活動等での交流を実施し、その様子を情報発信していく。
・あいさつ運動
・音楽朝会での発表
- ③ 「地域学校園の日」を活用して研修や情報交換を行い、地域学校園全体での共通課題の達成を目指す。
・宝木学校園「生活のきまり」
・自主学习推進
・学習のきまり

【達成状況】A17 ()

児童	教職員	保護者	地域

5-(2)
主体性と独
自性を生か
した学校経
営の推進

A18 学校は、家庭・地域・企
業等と連携・協力して、教
育活動や学校運営の充実
を図っている。
【数値指標】
全体アンケート
「学校は、家庭・地域・企業等
と連携・協力して、教育活動や
学校運営の充実を図ってい
る。」における肯定的回答
⇒保護者90%以上

- ① P T Aや地域協議会等と連携し、各教科・領域で充実した体験活動を推進する。
・ふるさと教室（昔遊び・昔の暮らし）
・読み語り（陽だまりの会・下野民話の会等）
・学習会 ・農業体験（田植え、稲刈り）
・町探検、ミシンボランティア 等
- ② 行政や企業と連携した出前授業を実施し、知識や技術、課題解決の方法などを専門家から直接学ぶ機会を設定し、教育内容の充実や多様化を図る。
・工場見学（カルビー） ・人権教室
・モノづくり教室（日産）
・上下水道局 ・薬物乱用防止
・リコーダー教室 ・歯磨き教室 等

【達成状況】A18 ()

児童	教職員	保護者	地域

5-(3)
地域と連携・
協働した学
校づくりの
推進

6-(1)
安全で快適な学校施設整備の推進

A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。
【数値指標】
全体アンケート
「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」における肯定的回答
⇒保護者90%以上

- ① 毎月、校舎内外の施設、設備等の安全点検を実施し、危険箇所については迅速な改善や修繕に努める。
- ② 危機管理マニュアルを整備するとともに、避難訓練や引き渡し訓練等を通して、火事、地震、竜巻、不審者侵入等の不測の事態への備えを万全にするとともに、緊急時避難体制について、保護者や関係機関、地域の防犯組織や安全ボランティアに学校ホームページや通知等により周知し、実効性のある危機管理体制の構築を図る。
- ③ 感染症予防対策、熱中症予防対策、インフルエンザ予防対策など、時期に応じた保健指導管理に努める。

【達成状況】A19 ()

児童	教職員	保護者	地域

6-(2)
学校のデジタル化推進

A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。
【数値指標】
全体アンケート
「私は、授業（授業準備も含む）や業務に、デジタルを積極的に活用している。」における肯定的回答⇒教職員80%以上

- ① 児童がデジタル機器を活用して、情報を収集・整理・発信する能力を育成するため、デジタル機器等の積極的な活用を図る。
- ② デジタル機器を利用した授業を積極的にを行い、ICT支援員を活用する等をして情報を共有する研修を行い、授業力向上を図る。
- ③ デジタル機器の活用に関連する図書資料や研修資料を教職員間で共有したり、機器を計画的に準備したりするなど、環境整備に努める。

【達成状況】A20 ()

児童	教職員	保護者	地域

小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等

B1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。
【数値指標】
全体アンケート
「私は、時と場に応じたあいさつをしている。」の肯定的回答
⇒児童85%以上

- ① 進んであいさつをする態度を養うために、代表委員を中心とした朝のあいさつ運動やあいさつ大賞等の児童の取組を主体とした活動を実施し、全校児童があいさつし合う場を設ける。
・低・中学年の自主的な参加を推進
- ② 中学校との合同あいさつ運動を活性化し、より多くの児童が積極的に運動に参加できるようにする。
- ③ 本校のあいさつ運動を学校便りや懇談会で保護者や地域の方々に周知する。
・家庭での習慣化
- ④ 地域に向けたあいさつについて、学年に応じて、学級単位で定期的な指導を継続する。

【達成状況】B1 ()

児童	教職員	保護者	地域

	<p>B2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、きまりやマナーを守って、生活している。」の肯定的回答 ⇒児童80%以上</p>	<p>① 全職員の共通理解のもと、朝会・全校集会で全校児童に話をしたり、発達段階に応じて各学級で指導したりして、基本的生活習慣の定着を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 休み時間の過ごし方 ・ 授業の始まりの準備 <p>② 「よい子の一日」の周知徹底を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廊下の歩行（教室移動時・休み時間） ・ 終業のあいさつと次時の準備 ・ 遊び方の共通理解 ・ 清掃中、清掃後の指導の徹底 <p>③ 生活目標を活用し、スモールステップで目標を達成できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 良かった点を各学級において帰りの会等で称賛する。 ・ 児童指導主任や代表委員児童が放送等で呼びかける。 	<p>【達成状況】B2（ ）</p> <table border="1" data-bbox="1034 165 1474 286"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	児童	教職員	保護者	地域								
児童	教職員	保護者	地域												
	<p>B3 教職員は、健康・体力面での適切な個別指導をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生は、健康や運動の大切さについて、熱心に指導してくれる。」における肯定的回答 ⇒児童90%以上</p>	<p>① 体力チェックや生活アンケートを実施し、個別指導に生かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外遊びの奨励と日常的な運動による体力づくり ・ 朝の1分間運動の実施 ・ 歯磨き指導 ・ 姿勢の改善と視力向上に関する意識づけ <p>② 給食・保健委員会を活用し、健康に関する児童の意識を高めていく。</p>	<p>【達成状況】B3（ ）</p> <table border="1" data-bbox="1034 748 1474 869"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	児童	教職員	保護者	地域								
児童	教職員	保護者	地域												
<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B4 児童は、授業で習ったことを復習するなど、自主学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、宿題や習ったことを復習するなど進んで家庭学習に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児童80%以上</p>	<p>① 西が岡小「家庭学習のすすめ」を活用し、学年に応じた家庭学習の習慣化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音読と個に応じた宿題の徹底 ・ 発達段階や個に応じた自主学習の進め方の指導 ・ 家庭学習の時間・やり方・内容の提示 ・ 学級懇談等での保護者への啓発 ・ タブレット端末の活用 <p>② 自主学習の例を掲示して、よい取組を児童や保護者に知らせていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昇降口前の掲示（学習チャレンジ週間） ・ リレー自主学習（全学年） 	<p>【達成状況】B4（ ）</p> <table border="1" data-bbox="1034 1122 1474 1243"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	児童	教職員	保護者	地域								
児童	教職員	保護者	地域												
	<p>B5 縦割り班活動を積極的に行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、たてわり班活動に積極的に取り組んでいる。」の肯定的回答 ⇒児童90%以上</p>	<p>① 異学年の交流活動を上級生がリーダーになって主体的に行い、思いやりの心を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たて割り班による花はなタイム ・ 新体カテスト ・遊友タイム ・ 読み聞かせ ・清掃活動 等 <p>② 班対抗のゲームや活動を取り入れて、継続的に高学年がリーダーとなる場づくりを推奨する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊友タイム ・運動会 ・ 企画委員会との連携 	<p>【達成状況】B5（ ）</p> <table border="1" data-bbox="1034 1608 1474 1729"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	児童	教職員	保護者	地域								
児童	教職員	保護者	地域												

<p>B6 児童は、学習や仕事を通して、自己有用感を育み、自己肯定感を高めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、学級や学年、学校の役に立つように、進んで学習や仕事に取り組み、周りから認められている。」における肯定的回答 ⇒児童85%以上</p>	<p>① 各教科等の学習において、一人一人に役割があるグループ活動の機会を設定し、相互に助け合いながら役立つ経験を積ませる。</p> <p>② 特別活動（児童会活動、学校行事、学級活動（係活動）等）において、友だちや異学年児童との関わりの中で、自分の役割を果たすことにより活躍する機会を設ける。</p>	<p>【達成状況】B6（ ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	児童	教職員	保護者	地域								
児童	教職員	保護者	地域											

【総合的な評価】

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。